

ミドリニリンソウ その1

(2005年5月17日 撮影)

「ニリンソウ」と別の種類の植物ではなく、ニリンソウの白い「がく」の部分^{べつ しゅるい しょくぶつ}が突然変異^{しろ}を起こして^{ぶぶん とつぜんへんい お}緑色^{みどりいろ}になったものをミドリニリンソウと呼びます。

ニリンソウの「がく」の部分^{ぶぶん}はもともと葉^はが変化^{へんか}したものですから、緑色^{みどりいろ}になったのは先祖^{せんぞ}がえりした^よものかもしれません。

全国的^{ぜんこくてき}にはそれほどめずらしい変化^{へんか}ではありませんが、泉ヶ岳^{いずみがたけ}ではごく限^{かぎ}られた群生地^{ぐんせいち}でのみ見^みることができます。

「がく」^{へんか}の変化^{さざま}は様々^{さまざま}で、いろいろな形^{かたち}や色^{いろ}に変化^{へんか}します。



ニリンソウの「がく」の変化のいろいろ。右端の写真のニリンソウの「がく」はほとんど葉に戻っていますね。

